

## 先輩監督官からのメッセージ



愛媛労働局総務部労働保険徴収室  
井出 友花  
平成26年度任官（B監）



### Q 労働基準監督官を志望した理由は何ですか？

私は大学で農業土木を専攻していましたが、理系であることを活かせる公務員の仕事を探していた時、「労働基準監督官」には理工系の採用枠があることを知り、労働基準監督官を目指そうと思いました。希望すれば、他県のような地域で地元にはない業種の経験を積むことができ、最終的に勤務したい都道府県に戻れる制度があり、新しい環境でいろいろなことを学ぶことができるのも魅力の一つだと思います。

### Q これまで学んだ知識をどのように業務で活かしたのでしょうか？

建設現場の足場や工場に機械を設置したり使用する際、安全確認や点検等あらかじめ行わなければならないことはたくさんありますが、私はこれまで大学で学んだ知識を活用することができました。

労働基準監督官の業務は、労働相談、監督指導、機器の検査、そして司法事件の捜査等多くの知識が必要となりますが、監督官には法律を勉強してきた人、民間会社に勤めた経験がある人、そして理系出身者でも様々な専攻を学んだ人など、幅広い知識、経験を持った人がいますので、業務に必要な知識は、そんな多くの経験を持つ先輩監督官の指導や助言、充実した研修や実地訓練等で身に付けることができます。

### Q 労働基準監督官になって印象に残っていることは？

初めて災害調査の主担当として、高層ビル建設現場での墜落死亡事故を調査したことです。死亡災害の悲惨さを目の当たりにし、それまで知識として学んできた、安全衛生対策やそれを維持管理していくことが、人の命を守るためいかに大切で重要なことかを思い知らされました。労働基準監督官として日々の学びと経験を積み、1件でも労働災害を無くしたいと、あらためて強く感じる経験となりました。

### Q 理系の学生の皆さんに伝えたいことは？

労働基準監督官は、建設工事、化学工場、各種製造業等、あらゆる業種の企業と関わるため、理系の様々な専門的知識が必要とされますので、理系出身であることが強みになり、大学で学んできた知識・経験を活かす場面がたくさんあります。

理系出身者の皆さんにこそ、「労働基準監督官」という仕事を知っていただき、監督官を目指すきっかけになれば嬉しく思います。

## 先輩監督官からのメッセージ



同僚とマラソン大会にて：日野監督官(右)

愛媛労働局宇和島労働基準監督署  
日野 聖人  
令和元年度任官（A監）



### Q 労働基準監督官を志望した理由は何ですか？

私が高校生の時、父親が過重労働によって体を壊し、転職せざるをえなくなったことがありました。現在も労働基準行政の中で最重要課題として長時間労働の抑制に取り組んでいますが、身近な親族の人生を一変することとなり、大学時代の研究テーマとして、労働問題について調べようと思いました。その研究過程で「労働基準監督官」の存在を知り、私も過重労働の解消に取り組んでみたいと考え、志望しました。

### Q 労働基準監督官の魅力は何ですか？

労働基準監督官は労働基準関係法令に基づいて会社に指導をすることが主な業務となり、労働者の権利救済、労働災害の防止など非常に重要な仕事を行います。

時には人命に関わる指導を行うこともあります。

目に見えて感謝される仕事ではないかもしれませんが、たくさんの働く人にとって、なくてはならない重要な仕事であり、やりがいは十二分、監督官の魅力の1つです。

### Q 労働基準監督官になって印象に残っていることは？

労働基準監督官は司法警察官として重大な労働災害を起こした会社等を検察庁へ送検することがあります。

私は主任捜査官として、掘削作業を行っていた労働者の頭上にコンクリート片が落下し、死亡するという労働災害の捜査を行いました。捜査を進める過程で未成年のお子さんがいることを知り、一家の大黒柱を失い深い喪失感と今後の生活に大きな不安を抱えていると労働者のご遺族からお話を伺いました。

労働災害は被災者の方はもちろん、その家族や多くの関係者に悲しみを与えることを肌で実感し、労働災害の撲滅に向けて、一層身が引き締まりました。

### Q 労働基準監督官を目指す皆さんに伝えたいことは？

労働基準監督官と聞くと専門的な知識や高度な技術を持っていないといけないイメージが先行するかもしれませんが、最初はゼロからのスタートで問題ありません。法律の読み方から実務的な業務の手法まで充実した研修、先輩監督官からの丁寧な指導により身に着けることができます。

向上心と素直に教えを受け止める姿勢を持っていれば誰でも監督官として活躍することができます。

愛媛労働局管内は第1次産業（農業等）、第2次産業（製造業等）、第3次産業（サービス業等）が各地域によって幅広く展開されており、様々な業種の特色に応じて多種多様な経験ができます。

労働基準監督官として皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



## 先輩監督官からのメッセージ



先輩監督官と登山：阿部監督官(左)

愛媛労働局新居浜労働基準監督署  
阿部 師大  
令和4年度任官（A監）



### Q 労働基準監督官を志望した理由は何ですか？

私は、以前勤めていた会社に労働基準監督署が立ち入り、これを機に会社の労働条件や労働環境が良くなったことに衝撃を受け、「労働基準監督官」になりたいと思いました。

そのため、監督官は「厳しくて強い権限を持っている」と思っていたのですが、一緒に仕事をする先輩監督官が労働者や事業主に親身になって法令の説明や指導援助を行っている姿を見て、監督官は「温かみを持って接する親しみやすい存在」と思うようになりました。

### Q これまで学んだ知識をどのように業務で活かしたのでしょうか？

私の大学時代の専攻分野は行動経済学で、前職は福祉関係の会社に勤務していました。

行動経済学は「人間は、ときに非合理的な選択を行うことがある」ととらえ、世の中の問題を見つめる学問とも言えますが、労働基準監督官としての相談業務や監督指導業務の際、大学で学んだ理論を活用し、発想を転換することで迅速な解決につながるがありました。

監督官の業務は様々な分野にわたります。大学で経験したこと、民間経験で得たこと、これまでの生活すべてが、現在の業務につながっていると感じています。

### Q 労働基準監督官になって印象に残っていることは？

賃金未払い等法違反の是正を指導した会社が、高額のため是正に難色を示したことがありました。

私は、法令の趣旨や是正、改善しない場合のリスクを丁寧に説明し、時間をかけて説得したところ、「ここで膿を出し切らなければ、会社は潰れてしまう、指導してくれてよかった。」と会社に感謝され、真剣に是正して労働条件の改善に取り組まれたことが、非常に印象に残っています。

会社が法令を遵守し、自ら労働環境を改善していけるように導いていくことが、監督官の使命と強く感じました。

### Q 労働基準監督官を目指す皆さんに伝えたいことは？

身近な人に、長時間労働や劣悪な労働環境に苦しんでいる人や、仕事で大怪我や大病を患い長い入院生活等を強いられている人はいないでしょうか。

労働基準監督官は、労働条件の確保や労働環境の改善を通して、法令違反や不幸な労働災害などを無くしていき、すべての労働者が意欲と能力を最大限発揮できることを目指して、仕事をしています。

労働基準監督官として、誰もが安心して健康に働くことのできる社会の実現を、ともに目指しましょう。